

1952—1953

菌部澄が写した

「汽車の窓から—東海道—」



KIYOSHI SONOBE

2024. 7.13(土) — 8.18(日)

福島市写真美術館 展示室 1・2・3・4

開館時間／午前9時 — 午後4時30分(最終入館：午後4時)

入 場 料／一般300円・高校生以下100円・未就学児無料

主催／福島市写真美術館(公益財団法人 福島市振興公社)・福島市

協力／一般財団法人 日本カメラ財団(JCII)

後援／福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・テレビユー福島・ラジオ福島・福島コミュニティ放送FMボコ

お問い合わせ

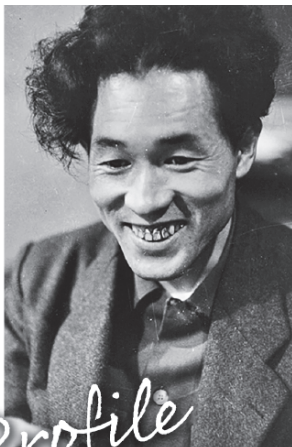


花の写真館

Fukushima city
museum of photography

福島市写真美術館(花の写真館)
〒960-8002 福島県福島市森合町11番36号
TEL 024-563-4990





profile

園部 澄

KIYOSHI SONOBE

- 1921年 2月14日 東京市京橋区佃島（現・東京都中央区）生まれ。
- 1937年 京橋尋常高小卒業後、書店・金松堂（赤坂）に奉公し、プロマイド販売のために暗室仕事を始める。
- 1940年 カメラ店・双美商会に転じて暗室と撮影に取り組む。
- 1943年 東方社に入社して暗室業務を担当し、木村伊兵衛に師事する。
- 1944年 応召してフィリピン戦へ従軍
- 1945年 復員
- 1947年 サン・ニュース・フォトスに入社し、木村の助手を務めながら「週刊サン・ニュース」の暗室業務及び撮影を担当。
- 1950年 岩波映画製作所に入社し、「岩波写真文庫」で約60冊の撮影を担当。
- 1957年 フリーランスとなる。
- 1968年 『日本の民具 全4巻』（慶友社、1964-67年）及び『黒川能』（平凡社、1967年）で第18回日本写真協会賞年度賞受賞。
- 1989年 「忘れえぬ戦後の日本 東日本編、西日本編」（ぎょうせい、1988年）で第39回日本写真協会賞年度賞受賞。
- 1995年 「冬日本海」、「冬北海道」（日本カメラ社、1994年）で第45回文化庁芸術選奨文部大臣賞受賞。
- 1996年 3月5日逝去。享年75歳

写真集は、「北上川（世界写真作家シリーズ）」（平凡社、1958年）、「日本の郷土玩具全6巻」（美術出版社、1962-63年）、「奈良六大寺大観6、7、9、11、12、13巻」（岩波書店、1969-72年）、「奈良の寺 14、18巻」（岩波書店、1974年）、「日本の土人形」（文化出版局、1978年）、「ふるさと」（朝日新聞社、1983年）、「桜前線」（ぎょうせい、1990年）、「子どもの領分」（淡交社、1996年）ほか多数。



ギャラリートークのご案内

7.20(土) 時間/13:30~15:30

講師/日本カメラ財団 学芸員 宮崎 真二氏

場所/福島市写真美術館 2F 多目的室

参加料/一般300円、高校生以下100円（観覧料含む）

内容

園部氏や展示作品についての解説、カメラの歴史について

※申し込み方法など詳しくはホームページまたは公式 X (旧 Twitter) をご覧ください。



写真美術館
ホームページ



公式 X
(旧 Twitter)



福島市写真美術館（通称：花の写真館）



福島市写真美術館（花の写真館）
〒960-8002 福島県福島市森合町11番36号
TEL 024-563-4990



公共交通機関をご利用の方は

- 路線バス【乗車場所】福島駅東口停留所（9番ポール）
コース①：「市内循環ももりん2コース」乗車→「福高前」下車（約5分）
コース②：「市内循環ももりん1コース」乗車→「福高前」下車（約17分）
※上記から東へ約1分

お車をご利用の方は

東北自動車飯坂インターから市街方面、国道13号を経由 約15分

- 花の写真館駐車場 13台 ※おもいやり駐車場含む
- 臨時駐車場（保健福祉センター第2駐車場）

お車の駐車台数に限りがありますので、乗合せ公共交通機関のご利用にご協力ください。

● MOMORINシェアサイクル

こちらでもご利用ください。

詳しくは二次元コードを読み取ってホームページをご覧ください。



- 福島駅東口より徒歩 約15分

アクセスマップ

